

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月20日

【評価実施概要】

事業所番号	4270300512		
法人名	有限会社 清福祉事業		
事業所名	グループハウス およりの郷		
所在地	〒855-0864長崎県島原市秩父が浦町丁3543番地13 (電話)0957-64-1150		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年8月8日	評価確定日	平成20年9月1日

【情報提供票より】(平成20年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16.5 人	常勤 5 人, 非常勤 11.5 人, 常勤換算 4.4 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	実費(光熱費1日100円) 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85.2 歳	最低	68 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	林内科医院・稲田整形外科・柴田長庚堂病院・島原保養院・まき歯科・たかお循環器内科・宮崎医院・松下ひふ科・かわはら内科胃腸科
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、ゆったりとした平屋建てに2ユニットが続き、駐車場から続く広々としたエントランスは植栽もよく手入れされ、日光浴に最適なベンチも置かれている。閑静な住宅地の中において近隣住民からのあたたかい理解や協力を頂き、ソフト面でも快適な環境が得られている。代表者は様々な経験を経て福祉事業を目指し当事業所を開設したが、「ホーム」ではなく「ハウス」としたところには、古いも色々な障害も含め、様々な人がその人らしく楽しく集える場にしたいとの思いがあった。職員の採用に関してもその思いを实践されている。ケア研究会において要職にあり、多くの場でリーダー的存在である代表者によるネットワークは、利用者にとって、外来者との交流が多く日々の新鮮な刺激を得ることにもなっており、職員にとっては同業者との交流に恵まれる機会も多い。職員は「のんびり、ゆったり、のどか」に込められた『利用者本位』を心がけ、穏やかな支援に努めている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価のねらいや活用方法をよく理解され、昨年の評価を受けて改善計画シートを作成し、改善に取り組んだ。自己評価に対する全員での取り組み、ケアプラン書式の改良、職員異動等による影響への配慮等に改善がなされた。前回の評価において達成がなされなかった改善点においては引き続き取り組みに期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価を受けて、今回の自己評価は、職員全員が項目を確認し、気づきを挙げて書き込みを入れることとした。それを管理者、計画作成担当者がまとめるという方法で取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容とそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、行政職員、民生委員、家族代表、代表者、管理者、計画作成担当者の参加により会議が開催され、活動報告、利用者の状況報告等が行われ、事業所のモニター役を担って頂いている。更なるサービス向上に繋げるため、会議参加者からの意見提案をより多くいただけるよう議題提起、会議活用の工夫の検討に期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族とは面会時、電話連絡において情報、意見交換を行っており、前回評価によって面会時の口頭での働きかけにより努めた。意見箱の設置、家族アンケートの実施にはいたっておらず、意見聴取に配慮した取り組みが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	事業所は住宅地の中にあり、植木の手入れ、利用者に対するあたたかな声かけや見守り、火災避難訓練への自主的参加等、近隣住民からは協力、厚意を多く得られている。また、学生の実習、体験学習、交流の受け入れを常時積極的に行い、幅広い世代で地域との交流が図られている。

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「老いても、障害を持って、自分らしく暮らせるように」の基本理念のもと、地域をはじめ様々な外来者との活発な交流の中で、いきいきと穏やかに過ごしていただくことを日々の目標にし、実践に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念実践へのキーワードとして、スタッフは「のんびり、ゆったり、のどか」を常に念頭におき、日々の介護に活かしている。利用者のペースを大切にということが理念の実践につながることで、余裕あるサービスを意識している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	住宅地の中にあり、植木の手入れ、利用者に対する暖かな見守りや声かけ、火災避難訓練への自主的参加等近隣住民からは協力、厚意を多く得られている。また、学生の実習、体験学習、交流の受け入れを常時積極的に行い、幅広い世代で地域との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価のねらいや活用方法を理解し、評価後は改善計画シートを作成し改善にむけての努力がなされている。今回の自己評価は職員全員が各自項目を確認し気づきを挙げていった。それを管理者、計画作成担当者等がまとめるという形で取り組むことができた。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、島原広域圏組合介護保険課主査、民生委員、家族代表、代表者、管理者の参加により会議が開催されている。事業所の活動報告、利用者の状況報告がなされ、モニターの役割を担って頂いている。会議のうち1回は会議メンバーに行事参加(花見)して頂き、活動体験、利用者との交流にあてた。		定期的にきちんと開催されている会議をより有益なものとする為、事業所からの議題提起により、具体的に検討、審議する事案に関して会議メンバーから新たな面からの意見、提案を頂くことで、報告だけではない双方向的な会議の充実に期待したい。会議への周知、理解のため、一般職員の会議参加も検討されることにも期待したい。

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	代表者はケア研究会の要職、島原地域広域市町村圏組合の世話役を務められ、行政との連携が深い。それにより市町村との連携においてはホームに十分なバックアップがとられている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回、広報「おより」を発行し、写真を添えて活動報告がなされ、行事予定等の連絡もなされている。家族の訪問時に口頭で利用者の様子を伝えたり、必要時には電話により心身の状況の変化を伝えている。金銭出納に関しても同様に、家族訪問時或いは送付して報告している。		遠方におられる家族への報告に関しての配慮の検討が望まれる。広報とはまた別な形で個別の近況報告を添える等、検討に期待したい。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	昨年の評価をうけて、家族訪問時にはこれまでより更に意見、要望に関して受け入れを広げるべく、口頭での働きかけに努めた。しかし、改善に向けた計画に挙げていた家族アンケートの実施、意見箱の設置には到っていない。		昨年度に引き続き、家族アンケートの実施や意見箱の設置等に取り組んでいかれることが望まれる。家族が気軽に要望が伝えられる場面作りに考慮して、意見聴取の姿勢を表す上での体制作りに、家族会開催の働きかけも含めたこれらの取り組みに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	改善計画に沿って、利用者に対して新人職員の紹介をすぐに行い、早期になじみの関係が構築できるよう配慮している。家族に対しても広報に掲載、紹介をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年度に引き続き、職員のスキルアップに積極的に取り組みたいとしている。日常における新人職員への指導から、外部研修、資格取得の奨励、参加協力に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者がケア研究会等の要職にあり、ネットワークは広く、職員は他ホームとの交流の機会が多い。今秋は、同代表者による別法人のホームと合同で敬老の日の行事を計画している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>法人内のデイサービスからの移行や病院退院後の利用等、状況に応じてスタッフが自宅、病院訪問を実施しスムーズなサービス開始に向けての支援を行っている。今後は体験入居の実施も検討している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者を年長者として敬うことはもちろん、地域における先達として人生、生活における知恵を頂くことがある。職員が利用者と接するゆったりとした時間の中で癒しを得ることもある。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者基本情報は、今ある「その人像」として捉えやすく整理され、そのほかにも職員が気づきを記録した職員ノートの存在など、利用者の情報を職員全員が確実に共有できる記録の工夫がなされ、日々のケアの質の向上に活かされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケア項目、評価が具体的に記入できる書式として工夫がなされており、ニーズに沿ってケアの内容がわかりやすいものとなっている。作成された計画書は家族に提示、説明されているが、同意欄の署名・捺印がない。</p>		<p>チームでつくる利用者本位の介護計画として、本人と家族の意向を考慮されることが望まれる。昨年度に引き続き、今回も本人、家族への計画書説明に際しての同意の日付・署名・捺印を得られること(遠方の家族へは郵送)が望ましい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>従来の定期的な期間(3ヶ月)による見直しに加え、昨年度の評価による改善として、状態変化に応じ随時ケアカンファレンスを実施、柔軟な対応を検討している。</p>		

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院支援がなされている。法人内のデイサービス内のリハビリ施設の利用といった支援もなされている。関連施設であるグループホームとの定期的な交流も今後予定されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望に沿ったかかりつけ医への受診支援がなされている。状況に応じて往診もなされている。多くの提携医療機関と密接な関わりをもつことでさらに医療面での安心が得られている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、重度化・終末期のケア対応方針を伝え、家族の同意を得ている。現時点まで看取りの実施はなく、今後は医療行為の重度化による医師の見極めと共に、本人家族の意向の確認、スタッフの方針の共有といったチームでの取り組みを検討していきたいとしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけに始まり、居室、トイレに入る際、ドアのノックをさりげなく欠かさずスタッフ全員が行っていることにも、プライバシーへの配慮が細やかになされていることがわかる。見学等の訪問による外来者も多く、マスメディアの訪問取材の受け入れもされていることから個人情報に関する同意書をとられている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴といった一日の大まかな流れはあるが、思い思い利用者には自由に過ごしていただくことに心がけている。職員は「のんびり、ゆったり、のどか」を忘れることなく利用者本位のペースを大切にケアに日々努めている。		

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、後片付けは利用者のできる範囲でされている。職員は一部介助に入り見守り、会話をしているが同じ食卓を囲み食事をとることはなされていない。		食事介助、食卓のスペースの問題、職員の休憩時間に対する配慮の問題等を検討された上で、利用者と共に食卓を囲み食事がなされることに期待したい。共に食事をとりながらの会話は新たな気づきの場となり、会話のもたらす和やかさは食事の楽しみへの支援となることが期待される。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前の通院の時間を考慮しながら、利用者の希望に対応しつつ毎日入浴の支援がなされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗い、台拭き、洗濯物たたみや、畑の水撒き、草取り等、利用者は生活の中の役割を、出来る範囲で楽しみながら担っておられる。風船バレー、ドライブ、ぬり絵、写経と、レクリエーションに、趣味にと楽しみごとの場面も多い。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	足湯、少し遠方へのドライブを兼ねての買い物、他ホームへの訪問等、利用者の希望に沿った外出の支援に努めている。近隣への散歩、玄関先のベンチでの外気浴も自由に出来るよう見守りをもって支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はされていない。利用者の行動の自由を最大限尊重し、安全確保に十分に配慮しながら、さりげない見守りを職員はおこなっている。隣接した住宅地の方々の協力も大きく、見守り、声かけを頂いている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署立会いのもと、年2回の火災避難訓練を行っている。近隣住民の参加、協力もなされている。昨年の外部評価をうけて飲料水、非常用食料を備蓄した。		火災以外の災害(地震、風水害等)を想定した訓練、マニュアルの作成はなされていない。昨今の各地で起こる自然災害について考慮し、広域避難場所、避難経路、建物の構造等の確認、再考、近隣との連携も含め、推進会議等の機会も利用して話し合い、取り組んでいかれることに期待したい。

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に応じて形態食の配慮がなされている。利用者個々にバイタルチェックが1週間分、見やすく記録され、水分摂取量、食事の摂取量も記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりとした広さが印象的である。居間、廊下の壁面にはカレンダー、時計の他に季節感が感じられる利用者の作品が飾られているが、過剰にならずスッキリとしていることが、家庭的な雰囲気を感じさせる。利用者の要望に応え、広く長い廊下の突き当たりに敷かれた畳は、日差しを浴びながらのお喋りを楽しむ憩いの空間として好評である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広さも十分にあり、採光、通風に配慮された快適な空間となっている。家具、調度品等持込の品が多くあり、壁に貼られた写真、作品、季節の飾りも含め、各部屋でその人らしさが十分に感じられる支援がなされている。		